

2025年度

差別をなくす人権を考える集い

演題 35年目のラブレター

講師 春日夜間中学校を育てる会名誉顧問
西畑 保さん



2025.7.8 火

開場 18:30 開演 19:00

奈良市 南人権文化センター



7月は差別をなくす強調月間

1969（昭和44）年7月に同和対策事業特別措置法が制定されました。このことを記念して、奈良県では毎年7月を「差別をなくす強調月間」と定め、あらゆる差別をなくすための様々な取組をおこなっています。

当センターも、毎年7月に「差別をなくす 人権を考える集い」を開催しています。1992年から始まり、同和問題をはじめ高齢者・子育て・女性・外国人・介護・認知症・社会保障制度などの各種講演・コンサート・紙芝居などあらゆるテーマを通して人権に向き合う取り組みを実施してきました。

今年度は、書籍や映画にもなった実話『35年目のラブレター』のモデルとなった西畑保さんにお越しいただき、講演を通じて勇気と希望を分かち合い、私たち一人ひとりがどのような行動をとれるかを考えるきっかけを作ります。

西畑保さん プロフィール

奈良市在住、春日夜間中学校を育てる会名誉顧問をつとめる。1936年、和歌山県の山間部に生まれる。幼少期には貧困やいじめにより教育を十分に受けることができず、読み書きができないまま社会人生活をスタート。その後、板前としての長いキャリアを持つが、常に「学び」への渴望を感じていた。

還暦を過ぎた64歳のとき、自身を支えてくれた妻・皎子さんへの感謝を込めてラブレターを書くため、夜間中学に通う決心をする。そこでのたゆまぬ努力により文字を習得し、ついに妻へのラブレターを完成。このエピソードは多くのメディアや創作で取り上げられ、人々に感動を与えた。

2025年には、彼の人生をもとにした映画『35年目のラブレター』が全国公開され、さらなる注目を集めることに。現在も「学ぶことに遅すぎることはない」というメッセージを広めるため、講演活動などを通じて人々に勇気と希望を届けている。

集会次第

1. 午後 7 時 0 0 分

開 会

主催者あいさつ

来賓あいさつ

2. 午後 7 時 1 0 分

講 演

春日夜間中学校を育てる会名誉顧問

西畑 保 さん

3. 午後 8 時 2 0 分

質疑・応答

4. 午後 8 時 3 0 分

閉 会





MEMO



主催

HP

南人権文化センター

<https://www.city.nara.lg.jp/site/shisetsu/31820.html>